

各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2018年 2月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店※1	108.3
阪神本店	98.5
支店計	97.7
全社計	103.3

※1 阪急うめだ本店 107.6%、阪急メンズ大阪 113.9%

既存店計※2	105.2
--------	-------

※2 堺 北花田阪急を除く既存店対比

○ 全店の概況 ※売上高が15ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・ 婦人ファッションは、厳しい寒さの影響でコート、ニット、マフラーなどの防寒アイテムが伸長。ジュエリーや時計・雑貨などの高額品も好調。
- ・ 昨秋に改装した博多阪急(112%)は、“ハレ”のマーケットに対する反応が良く、広域からの集客により継続的に好調。
- ・ インバウンド(約4割増)は、春節期間も好調に推移し、一般品、消耗品ともに好調継続。お買い物を楽しまれる傾向がさらに強まるとともに、リピーターも増加傾向。

○ 阪急本店の概況 ※売上高が15ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・ 厳しい寒さの影響で、コートなどの重衣料(111%)が高伸した婦人服(108%)や、改装したブライダルジュエリーギャラリーが牽引した服飾品(111%)、高額なジュエリーや時計・雑貨が継続的に好調なラグジュアリーブランド(124%)などが好調。
- ・ ハレンタインチョコレート売上が過去最高の23億円(115%)を記録。期間中(1月24日～2月14日)、9階に約90万人が来場されるなど集客に寄与。
- ・ 100万円以上の高額品は、大口のジュエリーなどが動き、高級ブランド品(127%)、時計(211%)ともに好調継続。
- ・ インバウンド(約5割増)は、ファッション関連の商品をブランドなどの指定買いではなく、国内のお客様と同じく楽しみながら購入される傾向がさらに強まっている。春節期間は前年の春節期間に比べて約2割増で推移。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2016年度		2017年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
阪急本店	106.6	103.1	105.4	108.4	108.3	108.0	110.0	114.4	110.1	112.6	106.5	107.3	108.3	
阪神本店	97.2	97.6	96.5	101.6	96.2	95.7	99.8	106.1	100.2	100.6	100.4	98.5	98.5	
支店計	99.0	99.5	101.6	102.8	104.0	103.4	94.9	97.3	95.3	100.5	98.4	96.1	97.7	
全社計	102.5	101.1	102.9	105.4	105.1	104.7	103.1	107.4	103.6	106.9	103.0	102.1	103.3	
既存店計								105.4	109.4	105.5	108.8	104.9	104.3	105.2

速報値

■ 食品事業

イズミヤ	売上高前年比(%)
全社計	91.3

阪急オアシス	売上高前年比(%)
全社計	100.2

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じる場合があります。

<本件に関するお問合せ先>
 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 広報室 TEL:06-6367-3181